

令和2年2月

定例教育委員会会議録

十日町市教育委員会

令和2年2月定例教育委員会会議録

1 開催日時、会場

令和2年2月21日（金） 15時00分～16時40分
川西庁舎 4階 第1研修室

2 出席

蔵品泰治教育長、吉楽隆一委員、庭野三省委員、佐藤美佐子委員、浅田公子委員

3 説明のため出席した者

子育て教育部長（樋口幸宏）、教育総務課長（長谷川芳子）、学校教育課長（山本平生）、指導管理主事（佐藤研一郎）、生涯学習課長（鈴木規幸）、文化財課長（佐野誠市）、スポーツ振興課長補佐（相場俊伸）

4 会議の内容

蔵品教育長

- ・（十日町市教育委員会議規則第24条ただし書に基づき）議案第3号を秘密会とする旨発議
（全員了承）

（1）会議録署名委員の指名

署名委員：佐藤委員、庭野委員

（2）報告事項

① 共催・後援等報告

- ・資料のとおり

（特に質疑等なく了承した）

② 報告第1号 東京2020パラリンピック聖火フェスティバル採火式について

蔵品教育長

- ・事務局の説明を求めた。

相場スポーツ振興課長補佐

- ・資料に基づき説明

（特に質疑等なく了承した）

（3）議決事項

① 議案第1号 令和2年市議会第1回定例会提出補正予算案の承認について

蔵品教育長

- ・議案第1号を上程し、事務局の説明を求めた。

長谷川教育総務課長

- ・資料に基づき説明

鈴木生涯学習課長

- ・資料に基づき説明

佐野文化財課長

- ・資料に基づき説明

相場スポーツ振興課長補佐

- ・資料に基づき説明

(特に質疑等なく決定した)

② 議案第2号 令和2年市議会第1回定例会提出令和2年度当初予算案の承認について

蔵品教育長

- ・議案第2号を上程し、事務局の説明を求めた。

長谷川教育総務課長

- ・資料に基づき説明

山本学校教育課長

- ・資料に基づき説明

鈴木生涯学習課長

- ・資料に基づき説明

佐野文化財課長

- ・資料に基づき説明

相場スポーツ振興課長補佐

- ・資料に基づき説明

庭野委員

- ・情報館の駐車場舗装は、状態が悪いので急いで実施した方が良いと思う。

鈴木生涯学習課長

- ・新博物館の開館が6月であることと、オリンピックの聖火リレーがあることから、今年度中に契約して直ぐに工事が始められるように準備している。

蔵品教育長

- ・舗装と合わせて、芝生部分に駐車場を30台分増設する予定である。

庭野委員

- ・博物館での講演会については、専門的だと一般市民が聞きづらい面がある。講師の選定を考慮してほしい。

佐野文化財課長

- ・新年度の体制では、学芸員が当番で知恵を出し計画する。広い視野で選定したい。

吉楽委員

- 就学支援委員会があるが、児童生徒の就学に向けた適切な判断を行うことと、医療教育の連携推進事業では、児童精神科を受診する子どもが増加傾向ということが、別のものではないと思う。教育相談センターとも一連のつながりがあり、学級経営支援で若手の教員の支援を事業の概要と目的の中にある。気になるのは、特別支援学校ができた時から入学者が毎年のように増えているが、普通の学校では教室が空いてきている。にこやかルームなどで、個別に支援を行う子どもが増えていることをトータルで考えると、子どもの数が減る中で、特別な支援が必要な子どもが増えていることは、予算的な面でも重要だと思う。専門的な委員会を立ち上げて、具体的にどう支援するかを保護者にアピールが必要なのか、オープンにしないで個別の保護者の事情に合わせて取り組まれるのか。

山本学校教育課長

- 就学支援委員会は、市内の特別支援コーディネーター、医療関係者、特別支援学校の教員から委員を選任して、年4回定例で行う。主な目的は、個々の様々な検査結果等や実際に観察し担任の意見を聞き取るなどして、普通学級、特別支援学級、特別支援学校のいずれかで学習するかを判断する役割を担うもの。何か外に向けて発信するというよりも、子どもがどこで学習した方が良いかを判断し、最終的に保護者が決定する。

吉楽委員

- 精神的障害で医療を受けるということがあるが、何らかの数値またはデータの基準があるのか。委員会の皆さんの感覚で評価されるのか。

山本学校教育課長

- 全体的なものを参考に判断基準を作成しており、それに基づいて検討している。できるだけ客観的なデータと、子どもの状況がどうかということを分析しながら判断する。

吉楽委員

- 令和2年度の予算が、令和3年、4年になるにつれて増えていくのか。軽減されていくのか。特別な支援を必要としていた子どもが、ある程度の基準を満たせば普通学級に入って良いと判断することになるのか。それは別の次元の話になるのか。

山本学校教育課長

- 現実問題としては、増えていく傾向がある。それに対して、その子にあった支援を行う体制を整えるために提示する。親の意識も変わってきて、普通学級で頑張れるという判断でも、特別支援学級に入れたいということもある。

佐藤委員

- 普段子どもを見ている人が判断するのではなく、客観的に判断した方が良いということなのか。

山本学校教育課長

- そういうことだけではなく、発達検査などの数値化されたデータと相談員や学級担任などが観察をしたデータをエピソードとして持ち寄り、専門的見地から克服すべき課題があるから、特別支援学級の方が充実した教育が受けられると判断するか、普通学級で皆と一緒にの方が良いのではないかと、ということを議論している。できるだけ、人が変わっても同じ判断になるような客観性を求めつつ、線を引くようなことはせず、ひとりひとりに合わせた判断をしている。

佐藤委員

- ・医療機関に対して補助を行うことは、受診される方の負担がなくなるのか。

山本学校教育課長

- ・受診される方への補助ではなく、小児精神科の医師を東京から来ていただき、必要な医療を行っていただくための補助である。

蔵品教育長

- ・市内の医院で、小児精神科医療が必要と考えて始めたものであり、医師の報酬や旅費を赤字覚悟で取り組んでいたが、対象となる子どもたちが増える傾向の中で、このままでは続けるのが難しいということで、市が財政的な支援を始めたものである。

庭野委員

- ・指導力向上等推進事業で、教員OBを任用するなら校長に拘らずに、若手教員の前で授業ができるような人材を集めてほしい。指導案を書かせて指導すると、若手教員が多忙となる。授業を見て具体的な指導ができる人が良い。実際に子どもの反応を見ながら、対応できる力を付けなくてはいけないと思う。

山本学校教育課長

- ・現役に近い方には、声をかけたが断られている。また、再任用制度により、63歳まで現場で教員を続けられるようになり、現場で頑張られる方が増えているのが現状である。指導案については、教育センターでも承知しており、実際に授業を見て、本人とのディスカッションなどを重視して指導している。

浅田委員

- ・別室登校支援員設置事業について、不登校は減少したと聞いたが、別室登校はどんな状況なのか。

山本学校教育課長

- ・現在、南中学校、川西中学校、十日町中学校に別室登校指導室を設置して、教員免許を持った方を配置して、学習指導の補助的なことをしている。別室登校の子どもは流動性があり、教室へ行ったり戻ってきたり、来なかったりするため、継続的に対応が必要な生徒がいる学校には設置している。別室登校であっても出席となる。

吉楽委員

- ・教育系ネットワーク管理費で、小中一貫教育の推進にも関わると思うが、子どもたちのデータを入力することで、9年間の成長過程が見えることを考えると、現在の在校生の過去の健康管理や成績処理などのデータを入力して活用するのか。導入した時点からの子どものデータを入力することと、今まで残してきたデータを併用していくのか。

長谷川教育総務課長

- ・新しいシステムに移行できるデータは、名簿と出席簿のみであり、現在のシステムには健康管理や成績処理などのデータが無いため、来年度から新たに入力を始め、過去のデータと併用して運用する。

吉楽委員

- 学校関係では、保護者を含め子どもたちにアンケートを行うことが多くなると思うが、紙ベースでの整理となるのか。ネットワーク管理には向かないのか。アンケート集計作業は大変だと思うので、ネットワークでまとめられれば良いと思う。

(以上の質疑のあと決定した)

(4) その他

① 最近の動きについて

- 各部長、各課長等が資料に基づき説明

② 3月の主な行事予定について

- 資料に基づき説明

③ 次回の教育委員会の開催日時

- 3月臨時会 3月13日(金) 9時30分から開催することに決定した。
- 3月定例会 3月26日(木) 14時から開催することに決定した。

-----以下秘密会-----

- 議案第3号 令和元年度末令和2年度初学校管理職人事異動に関する承認について
(十日町市教育委員会会議規則第30条の規定により秘密会の議事は、会議録には記載しない。)

以上で、16時40分に蔵品教育長が閉会を宣言した。

以上の会議録に誤りがないことを認め、ここに署名する。

会議録署名委員

会議録署名委員

会 議 書 記